

## 平成29年度「黒岩知事との“対話の広場”地域版（湘南会場）」参加者意見一覧

“対話の広場”地域版（湘南会場）では、当日のご発言以外にも、参加者アンケートにてご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご感想を以下の通りまとめました。（ご意見・ご感想は要約してあります）

### 湘南の魅力に関すること

・「マグネット」というものは観光客を引きつけるという意味で使われているとのことだが、湘南地域の市民や企業、行政が集まってそれぞれの市町村の魅力を発信していくという過程で様々な人々が「つながる」という意味でも「マグネット」をもっと強く意識してほしい。また、湘南地域を世界の観光客に発信していくためにも、まずは私たちのような湘南地域に住む人々が湘南の魅力を知らなければいけない。住民が知ることができれば、魅力を高めていく力が強まると思う。行政や企業だけでなく一般市民も一緒に湘南地域の魅力を考え、見つけ、作り、発信する場を作ってほしい。（平塚市・女性）

・湘南地域といえば〇〇と言えるような所・物が少ない。もっと県としても「七夕まつり」を推してほしい。他の市町村にもお祭りや名所はたくさんあるが、全国的に有名であるのは「七夕」だと思う。例えば、七夕歴史博物館を造るなど、いつ来ても七夕を感じられるような所があれば良いと思う。この湘南地域には、有名な（歴史）博物館が少ない。市の博物館の特設展示でも良いので、「七夕」に関する展示などがあれば、もっとこの平塚の魅力が伝わり、観光に来る人も増え、街が活性化していくのではないか。（平塚市・女性）

・今、平塚は「ららぽーと」しか有名ではないと思う。しかし、ららぽーとだけでは、いつか有名ではなくなってしまう。だから早めに対策をとるべきである。そこで、商店街を有名にしてはどうか。同じ平塚でも海側にある商店街はすごくにぎわっていて、シャッターが少ない。まずは何で同じ商店街でも違うのかという理由を考え、分析し、実践してはどうか。（茅ヶ崎市・女性）

・大磯の魅力をどのように伝えるか。（伊勢原市・女性）

・知事の考えるマグネット力では、湘南地域全体の活性化にはならないと思う。市町の1つ1つの良い所をのばして、その市に観光客を引きつけるマグネット力を強化していくというふうに関心した。しかし、それでは湘南の市町が互いに引きつけあうマグネット力が強化されず、湘南地域でも明るい所と暗い所が出てきてしまう。それでは、湘南地域の活性化が達成されたとは言えない。市町を超えたつながりを増やすことがまずやるべきことの一つだと思う。例えば、海に面した市町同士で年に1回海産博覧会の開催や有名なお寺がある市町で寺めぐりなど、もっと市町同士が1つになった企画が増えてほしい。（茅ヶ崎市・男性）

・湘南のもう一つの顔として「山」や「森」など自然に関するテーマを決め、取り上げてみてはどうか。また、平塚市民のリトアニアのイメージや印象、認知度があまりにも低い。話にも出たとおり、総合公園などで平塚チームとリトアニアのチームでバスケットボールの試合を行い、外での店で文化交流を取るなどを行ったら良いと思う。（平塚市・男性）

・平塚地域内の寺院や神社をめぐるというツアーに参加した際、今まで知らなかった平塚ならではの歴史の魅力を強烈に感じ、とても良い経験をした。なので、そのような機会やツアーをもっと積極的かつ頻繁に設けるべきだと思う。神奈川県全体で実現できれば、湘南地域のみならず県外にも多くの魅力を伝えることが可能になるのではないか。（平塚市・女性）

・いずれは、湘南地域の全域に平塚の七夕まつりの存在を知ってほしい。結果的に、日本中に「平塚＝七夕まつり」とイメージできるようにしたい。（平塚市・男性）

・リトアニアの方々に七夕飾りを作ってもらうなど、さらにリトアニア、そして世界へと広がってほしい。（平塚市・男性）

・もともとは県の施設であったものを、民間企業がコンセプトをもって運営し、人気が出ている例を聞いたことがある。そのような取組みが平塚でもあるとおもしろいのではないか。目指すコンセプトをはっきりさせることが大事だと思う。（平塚市）

・「ストーリーがわかるとおもしろい」というのはその通りだと思う。土地に住む我々が一人ひとりがおもしろい話を知っていることが大切。その土地のセールスマンになり、語り部になれる。（二宮町・男性）

・魅力をしっかりと伝えるためにSNSなどをもっと使うと良いと思った。（鎌倉市・男性）

・外国人に神奈川県のことを知ってもらうために、環境問題を見直し、ポイ捨てなどでその場所が汚れないかなどを一度考えた方がいいと思う。（藤沢市・女性）

・まずは、神奈川県のある有名なスポットを作ることが必要。神奈川はこれといったものがない。日本の観光客はもちろん、外国の方がひかれるようなものを作ると良いと思う。「湘南＝お茶」のような結びつきが強いものは良い材料になるのではないかな。また、現代ではネットなどで拡散することもひとつの手だと思う。（小田原市・女性）

## お茶に関すること

・まず、日本人に「お茶」について知ってもらい、その上で日本茶といたら「神奈川県」となれば、外国人のお茶が好きな人が神奈川を訪れてくれるようになると思う。（神奈川県外・女性）

・お茶を若者や日本人に知ってもらえるよう、高校生と連携してスイーツ等の商品開発をしたらどうか。（小田原市・女性）

・湘南ゴールド茶などはとてもおもしろく、湘南というのは資源がたくさんあると思った。（平塚市）

・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、藤沢マイスターを活用し、お茶を世界へ広げるような湘南発信の取組みをしてほしい。（茅ヶ崎市・男性）

## その他

・若者によりチャンスと機会を与えたい。共生社会を実現し、世界一やさしい地域でパラスポーツの普及をしたい。（平塚市・男性）

・今まで湘南のことについて、深く考えたことはなかったが、これを機に考えていきたい。（横浜市・男性）

・藤沢マイスターとしての佐々木さんの活躍を期待している。（藤沢市・女性）

・鎌倉などの海は景観を守るために防波堤が付けられていないが、どう考えているか。（鎌倉市・男性）